

松田食品安全担当大臣記者会見発言メモ

平成18年1月31日（火）

内閣府特命担当大臣（食品安全）発言要旨

1. 本日、米国産牛肉等の問題について、食品安全担当大臣の立場で適切な対応を図るため、寺田食品安全委員会委員長及び食品安全委員会委員と打合せを行い、次の3点を確認した。

米国産牛肉の輸入については、再開が始まったばかりで、このような事態となったのは誠に遺憾であるが、食品安全委員会としても食の安心・安全のため、最大限に努力していくこと。具体的には、米国産牛肉等のリスク評価結果が十分いかされるよう、リスク管理機関には原因究明、再発防止にしっかり対応してもらうとともに、その状況について十分把握していくこと。食の安全に関する国民の信頼を確保するため、原因究明、再発防止に加え、リスクコミュニケーションが必要である。

そのため、リスク管理機関において、しっかり

対応してもらおうとともに、食品安全委員会も積極的に協力すること。

2 . 食品安全担当大臣としては、上記で確認した3点について食品安全委員会に対しても最大限努力してもらおうよう要請するとともに、リスク管理機関の対応状況を十分に見極めつつ、食の安心・安全の確保に努めてまいりたい。